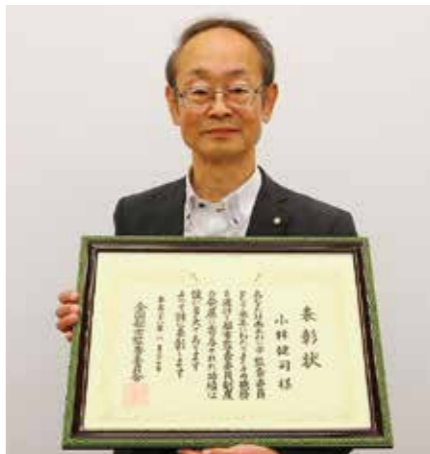


全国都市監査委員会表彰を受賞

小林健司代表監査委員が、8月25日に開催された平成28年度全国都市監査委員会総会で、全国都市監査委員会会員表彰を受賞されました。

小林代表監査委員は、平成21年3月23日に南あわじ市代表監査委員に選任され、永年にわたり監査委員の職務を遂行し都市監査委員制度の発展に寄与された功績により表彰されました。



▲表彰を受けた小林健司代表監査委員

小林代表監査委員は、平成21年3月23日に南あわじ市代表監査委員に選任され、永年にわたり監査委員の職務を遂行し都市監査委員制度の発展に寄与された功績により表彰されました。

らっしやい倶楽部がゆめんセンターに遊具を寄贈

南あわじ市商工会「らっしやい倶楽部」が、設立20周年を記念し、第1回らっしやい倶楽部ボランティア基金事業として、旧二宮保育所跡に移転した「子育て学習・支援センター」に遊具を寄贈されました。

地域の宝である子どもと子育て世代に役立つ子育て支援に活用してほしいと寄贈された遊具は、イモムシの形をした屋外遊具と人工芝で、同センターの園庭に設置されました。



▲中田市長(前列左)から感謝状を手渡された池本健会長(前列右)と東良嘉員副会長(後列右)

同倶楽部は旧南淡地区の41店舗が加盟しています。店舗で買い物をする時発行される「らっしやいカード」はポイントで商品券や高速バス乗車券、イベント参加などに利用できます。平成24年からボランティア機能を追加して基金を積み立て、今回、第一回目の基金事業として寄贈に至りました。同倶楽部の池本健会長は「芝生の上で、子どもたちが素足で自然を感じながら遊んでもらいたい」と話しました。



▲畜産共進会(乳牛)の審査の様子

第12回畜産共進会が9月18日、19日の2日間、淡路島牧場で開催され、市内各地からホルスタイン種35頭、黒毛和種80頭が出品され、月齢別に資質と美を競いました。また同日開催された「食まつり」では、野菜や牛乳、乳製品などの販売や牛乳の試飲コーナーなど様々なイベントが行われ、大勢の人で賑わいました。共進会入賞者一覽(敬称略)【乳牛の部】◆名誉賞▽未經産Ⅱアバンギヤルド ダンデイライラック(出口順也・志知)▽経産Ⅱアリストジュニアハーゲンクオン(山田一輝・志知)



▲ジュニアブラック&ホワイトショー 農家の子供たちが手綱を持って牛を誘導

南あわじ市「食まつり」・畜産共進会を開催

ふるさと納税

ご寄附ありがとうございます。

ふるさと南あわじ応援寄附金

寄附状況の公表		(9月20日現在)
区分	件数	金額
南あわじ市内	573件	68,651,749円
市外(島内)	112件	17,788,000円
市外(島外)	13,345件	589,418,403円
合計	14,030件	675,858,152円

詳細は市のホームページに掲載しています

吉備国際大学からのお知らせ

◆第1回学園祭を開催

開設4年目を迎えた吉備国際大学地域創成農学部では、初めての学園祭「くにおみ祭」を開催します。イベント盛りだくさんの学園祭に、皆さまの来場をお待ちしております。

▲学園祭開催場所のキャンパス

やフリースタイルフットボールー徳田耕太郎プロ、そして多数のゆるキャラも登場します。その他、クイズ大会や写真コンテスト、お菓子まきといったイベントに、模擬店も多数出店します。※駐車場は多数ありますので車で来場できます

園同大事務室 ☎42・4700



▲11月5日に学園祭を開催する吉備国際大学

和太鼓美鼓音 宮城県で慰問演奏会

和太鼓美鼓音は、8月22日～24日にかけて、宮城県で慰問演奏会を開催。仙台市の荒井東復興住宅と南三陸町のさんさん商店街、老人ホーム慈恵園で計4回の演奏を行いました。



慰問演奏会

また、JAあわじ島・南あわじ市からの支援物資と、美鼓音で募った義援金を、演奏した各施設と仙台市、南三陸町、七ヶ浜町へ届けました。



支援物資を配布

被災地の方々と触れ合った同グループは、「今後も支援活動や防災啓発活動に関わっていききたい」と、決意を新たにしていました。

ふれあい市長室

今一度、災害に備えた再確認を!!

南あわじ市長 中田勝久

北阿万出身の正木健人選手が9月10日にブラジルで開催されたリオデジャネイロパラリンピック柔道男子100kg超級に出場し、みごと銅メダルを獲得されました。2大会連続での快挙に感動し、また大変誇らしく思います。

さて9月20日、本市に接近した台風16号は、同日24時間間で162.5mm(気象庁観測)もの大雨をもたらしました。小規模な土砂崩れや道路のかん水による通行止め等は発生しましたが、人的被害が無かったことに安堵しています。「備えよ常に!」台風や地震などによる災害はいつ

発生するかわかりません。市民の皆さんにおかれましては、昨年度に自治会等を通じて配布させていただきました冊子「もしもの備え」を活用いただき、今一度、非常用持出品や避難場所等のご確認をお願いします。

南あわじ市では「災害に強いまちづくり」に取り組んでいます。8月末に残念ながら大臣との面談はできませんでしたが、財務省・国土交通省にお伺いし、政務官を筆頭に30名を超える幹部の方々に資料を手渡しさせていただきました。水門や防潮堤の整備、三原川水系の河川改修についても強くお願いしてまいりました。これからも機会あるごとに、国・県に要望し、安心・安全なまちづくりを進めてまいります。

また、9月2日には「地方創生の渦を起そう!」をテーマに「ふるさとテレビ」11周年記念七夕シンポジウムが開催されました。日本3大海峡である、関門海峡・鳴門海峡・津軽海峡の3つの海峡を挟む6つの市の市長が



▲藤井国土交通大臣政務官に内容を説明する中田市長

パネリストとして出席。また、安倍昭恵総理夫人も出席され、基調講演のほかパネリストとして共に地方創生に向けた取組みについて意見を交わしました。私からも鳴門市長とともに「鳴門の渦潮」の世界遺産登録に向けての動きをPRしたほか、淡路人形浄瑠璃や特産の淡路島たまねぎなど、ふるさと南あわじについて大いにPRしてまいりました。

さて、9月は敬老月間であり、ふるさと南あわじを支え、また発展させてくださった高齢者の方々に感謝する月でした。私も、今年度100歳を迎える方々を訪問・祝福をさせていただいたほか、各地区で開催された敬老会に出席し、お祝いの言葉を述べさせていただきました。「しっかりと食べて、運動すること、これが元気の秘訣だそうです。どうぞこれからもお体に気をつけて、健康で長生きしていただきたいと思っております。

過ごしやすい季節を迎え、市民の皆さんにおかれましては、無理のない範囲で運動などをし、健康にご配慮いただきますとともに、これからは施策へのご理解・ご協力をよろしくお願いたします。